

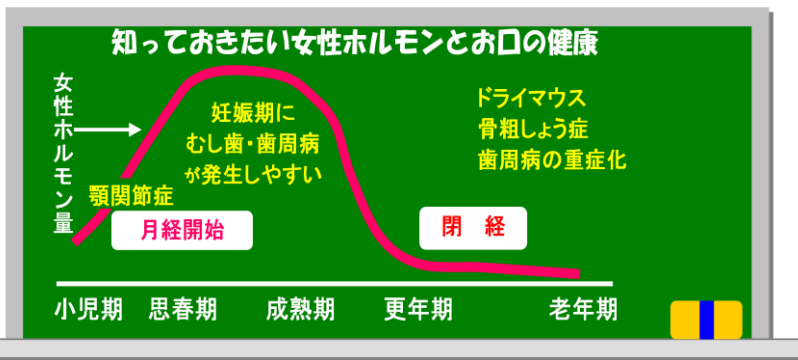
3月3日ひな祭りを中心に、3月8日国際女性デーまでの8日間を女性の健康週間と定めています(厚生労働省)。女性が生涯を通じて健康で明るく、充実した日々を自立して過ごすことを支援するための国民運動として様々な活動を展開しています。

女性の健康に関する正しい知識を持ってもらうためのクイズです。何問できますか？

1. 健診は症状がなくても受けるものである。
2. 乳がん検診は、どの年代でも内容は同じである。
3. 子宮けい癌は予防できる。
4. 現在女性の月経回数は、昔の女性と同じである。
5. 痩せすぎは女性ホルモンの働きを止めてしまう。
6. 生理痛は「あるのが当たり前」で「我慢すべきもの」である。
7. 女性は男性よりアルツハイマー（認知症）になりやすい。

※女性のカラコロ検定～保険者機能を推進する会;女性の健康対策分科会作成より抜粋 答えは一番下へ

更年期になると女性ホルモン量の低下により、身体にいろいろな変化が現れます。



■更年期になると、唾液が減少して口腔乾燥になりやすく、歯周病やむし歯が起きやすくなります。気になる方は、定期歯科健診を受けましょう。



女性のための情報紹介

友達にも話せないカラダの心配
一人で悩まないで、相談してみませんか？

—よくある相談—

生理が一度もない、遅れている、生理痛がある、出血がダラダラ続く、大事な予定と生理の日が重なる、生理前になると調子が悪くなる、カラダの心配など……

専門の相談員がアドバイスします

東京都
「女性のための健康ホットライン」
03-3269-7700
(月曜日～金曜日 10:00～16:00 祝日年末年始休み)

※お昼休みの時間や、夏休みなど学校がお休みの時間も相談できます
○電話相談では、お名前をきくことはありません。
秘密も守られますから安心してお話し下さいね！(通話料がかかります)

女性の健康週間 市民公開講座
不妊症について

日時：2012年 3月4日(日)
14:00～15:30 (開場 13:30)

会場：広島大学医学部第IV講義室
(広島市南区霞 1-2-3)

※駐車場(有料)には限りがあります。
公共交通機関でお越しください。

入場 無料

広島県における不妊治療支援の取組み
広島県健康福祉局 健康対策課長 岸本 益実

いつか母になりたいあなたに
卵(たまご)は待ってけません！
—不妊症・不育症を左右する「卵」の話—
国立広島大学附属産科 主任助産 原 謙児

主催：広島産科婦人科学会
広島県産婦人科医会

後援：広島県
お問い合わせ先：
広島大学医学部産科婦人科学
☎082-257-5262

■全国でいろいろなイベントが開催されますので、参加して最新情報を入手しましょう。